

シンポジウム

上海フランス租界史研究の可能性 —パリ・上海から日本へ—

2022年

3月27日(日)

13:00開始
(16:30終了予定)

Zoomによる
オンライン開催!

19世紀半ばから第2次世界大戦終結まで、極東の上海に燦然と輝いたフランス文化。租界という特殊な空間が結んだ日仏中三か国の文化交流の実態を、多くの新発見資料を用いて明らかにします。

開会挨拶・趣旨説明 榎本泰子(中央大学)

第1部 上海フランス租界で花開いた文化

井口淳子(大阪音楽大学) 森本頼子(名古屋音楽大学)

趙怡(関西学院大学)

第2部 上海アリアンス・フランセーズの戦後と日本

藤野志織(京都大学) 野澤丈二(帝京大学)

コメンテーター: 田崎直美(京都女子大学) 孫安石(神奈川大学)

参加ご希望の方は、3月20日(日)までに、以下のURLまたはQRコードからアクセスしてお申し込みください(先着50名)。シンポジウム当日に使用するZoomミーティングのURLを個別にお知らせします。

お申し込み先URL:

<https://forms.gle/FHx4CkqHMrFNbwD77>



プログラム

13:00～ 開会挨拶・趣旨説明
榎本泰子(中央大学)

第1部 上海フランス租界で花開いた文化

- 1.「租界を芸術の都とならしめたもの—仏語メディアの二人の立役者」
井口淳子(大阪音楽大学)
- 2.「上海のフランス語ラジオ放送と音楽—クラシック音楽番組にみる普遍性と独自性」
森本頼子(名古屋音楽大学)
- 3.「上海租界のフランス語新聞 *Le Journal de Shanghai* (1927-1945)
—文化欄を支えた多国籍の執筆陣」
趙怡(関西学院大学)

質疑応答
コメント 田崎直美(京都女子大学)

休憩 10分

15:00～ 第2部 上海アリアンス・フランセーズの戦後と日本

- 1.「関西日仏学館(京都)と「グロボワ文庫」」
藤野志織(京都大学)
- 2.「東京日仏学院に移管された図書について」
野澤丈二(帝京大学)

質疑応答
コメント 孫安石(神奈川大学)

総合討論

閉会挨拶
(発表タイトルは変更される場合があります。)

主催:科学研究費基盤研究(B)「上海フランス租界を結節点とする日仏中三か国の文化交流史」
(2020～2022年度、研究代表者:榎本泰子)

お問い合わせ: shxx7f@fazujie.page

